

## 株主メモ

事業年度：4月1日から翌3月31日まで

定時株主総会：6月中

基準日：3月31日

中間配当基準日：9月30日

単元株式数：100株

株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所：東京証券取引所

公告掲載URL：https://www.nacoo.com/

※ただし、やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵送物送付先		〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問い合わせ先	お取引口座を開設されている証券口座へお問い合わせください。	Tel. 0120-232-711 (通話料無料) 平日9時～17時
各種手続きお取扱店 住所変更、株主配当金受取り 方法の変更等		特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
未払配当金のお支払	三菱UFJ信託銀行本支店	
ご注意	支払明細発行につきましては、上の「特別口座の場合」の郵送物送付先・お問い合わせ先・各種手続きお取扱店をご利用ください。なお、特別口座では単元未満の株式の買取以外の株式売買はできません。証券口座等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。	

※確定申告の際には、同封の配当金計算書をご利用いただけます。株式数比例配分方式を選択された株主様については、お取引のある証券会社にご確認ください。

# Business Report

## 株主通信



家を買って 掃除して 水を飲んだ。それぜんぶナックです。

家での毎日の暮らし。朝、出社するオフィス。お昼によく行くレストラン。ナックが提供するサービスは、街のいろいろな場所で、お客さまの生活をサポートしています。

▶ 株主・投資家の皆様へ



当連結会計年度におけるわが国経済は、自然災害による一時的な押し下げがあったものの、企業収益が堅調に推移し、雇用・所得環境の改善が続くなど、緩やかな回復が持続しました。しかしながら、海外経済の減速に伴う輸出の低迷などから年度末にかけては弱含みで推移しました。

当社グループの事業領域である住宅業界では、2019年10月の消費増税に向けて需要の増加が期待されておりましたが、前回に比べて税率の引き上げ幅が小さいほか、増税後の落ち込み防止策として住宅ローン減税の延長をはじめとする住宅取得支援制度が拡充されたことにより、需要の伸びは予想を下回る結果となりました。

他方、小売・サービスでは、雇用・所得環境の改善が続いたものの、物価上昇に伴う実質所得の伸び悩みなどから個人消費は緩やかな持ち直しにとどまりました。

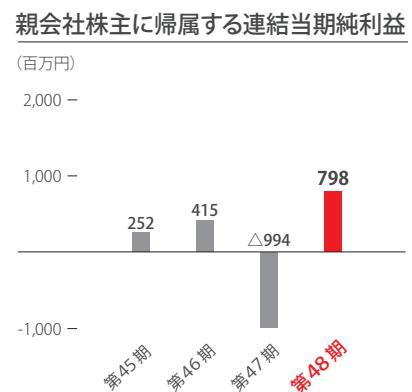
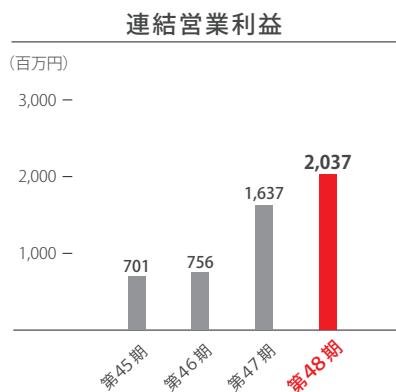
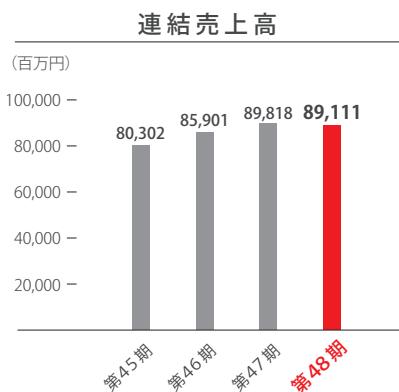
このような中、当社グループでは各事業分野において、新商品の開発・販売、顧客サービスの向上、販売促進活動や商圏の拡大に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績は、売上高89,111百万円(前期比0.8%減)、営業利益2,037百万円(同24.5%増)、経常利益2,081百万円(同32.2%増)、親会社株主に帰属する当期純利益798百万円(前期親会社株主に帰属する当期純損失994百万円)となりました。

経営環境の変化が激しい中ではありますが、各事業の更なる成長に向け、全社一丸となって努力してまいります。株主・投資家の皆様におかれましては、今後とも当社グループへの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 吉村 寛

▶ 決算のポイント



▶ 業績ハイライト

事業	概要	売上高	前期比	営業利益	前期比	営業損失	前期比
クリラ事業	直営部門では、記録的な猛暑を一因として顧客売上単価が向上し、加盟店部門では解約率低下などに努めた結果、全体で増収となりました。損益面では、省エネサーバーへの切り替えに伴う手数料収入などにより、営業利益が大幅に増加しました。	131億79百万円	0.2%増	7億88百万円	32.3%増	-	-
レンタル事業	すべての部門で売上高が堅調に推移し、全体で増収となりました。損益面では、株式会社ダスキンとの資本業務提携に基づく新規出店のために販売費及び一般管理費が増加したことわずかに減益となりました。	143億94百万円	4.9%増	19億98百万円	1.1%減	-	-
建築コンサルティング事業	建築部資材販売の減収をノウハウ販売と株式会社エコ&エコがカバーし、全体で増収となりました。損益面では、ノウハウ販売で新商品の開発及びブランド化戦略に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより減益となりました。	54億59百万円	1.4%増	7億54百万円	2.7%減	-	-
住宅事業	株式会社レオハウスと株式会社ジェイウッドにおいて、前期末の受注残が前々期末を下回ったことを、期中の受注では補いきれず、全体で減収となりました。損益面では、株式会社レオハウスにおいて人件費を含む販売費及び一般管理費の削減等を行い、全体の営業損失額が前期比で減少しました。	463億18百万円	2.5%減	6億94百万円	—	6億94百万円	—
美容・健康事業	化粧品通信販売を手がける株式会社JIMOSでは、新規顧客数は順調に増加したものの、既存顧客への売上高が伸び悩み減収となりました。損益面では、広告宣伝費及び販売促進費の効率的な運用に努め、増益となりました。	98億1百万円	3.1%減	2億55百万円	73.2%増	2億55百万円	73.2%増

※各セグメントの営業利益のほかに、各セグメントに帰属しない全社費用等1,064百万円があります。

▶ **財務報告** (2018年4月1日～2019年3月31日)

科目	前期 2018年 3月31日現在	当期 2019年 3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	22,980	31,575
固定資産	19,135	17,916
有形固定資産	12,579	11,457
無形固定資産	2,782	2,549
投資その他の資産	3,773	3,908
繰延資産	—	134
<b>資産合計</b>	<b>42,115</b>	<b>49,626</b>
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	20,973	23,410
固定負債	7,027	6,055
<b>負債合計</b>	<b>28,001</b>	<b>29,465</b>
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	14,873	20,950
その他の包括利益累計額	△758	△789
<b>純資産合計</b>	<b>14,114</b>	<b>20,161</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>42,115</b>	<b>49,626</b>

科目	前期 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)	当期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,152	△2,200
投資活動によるキャッシュ・フロー	△905	△835
財務活動によるキャッシュ・フロー	△473	4,941
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△225	1,906
現金及び現金同等物の期首残高	7,430	7,261
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	50	—
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	6	—
現金及び現金同等物の期末残高	7,261	9,167

科目	前期 (自2017年4月1日 至2018年3月31日)	当期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
売上高	89,818	89,111
売上原価	55,032	54,348
<b>売上総利益</b>	<b>34,785</b>	<b>34,763</b>
販売費及び一般管理費	33,148	32,725
<b>営業利益</b>	<b>1,637</b>	<b>2,037</b>
営業外収益	224	292
営業外費用	287	249
<b>経常利益</b>	<b>1,574</b>	<b>2,081</b>
特別利益	4	48
特別損失	1,025	217
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>553</b>	<b>1,912</b>
法人税、住民税及び事業税	1,138	1,268
法人税等調整額	409	△154
<b>当期純利益又は当期純損失(△)</b>	<b>△994</b>	<b>798</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)</b>	<b>△994</b>	<b>798</b>
<b>その他の包括利益</b>	<b>48</b>	<b>△30</b>
その他有価証券評価差額金	45	△28
繰延ヘッジ損益	2	△2
土地再評価差額金	△0	—
<b>当期包括利益又は当期包括損失(△)</b>	<b>△945</b>	<b>798</b>

▶ **会社情報** (2019年3月31日現在)

会社名：株式会社ナック (英文名 NAC CO.,LTD.)  
 設立：1971年5月20日  
 資本金：6,729,493,750円  
 従業員数：2,174名 (連結子会社の従業員を含む)  
 事業内容：クリクラ事業 (宅配水「クリクラ」及び次亜塩素酸水溶液「ZiACO (ジアコ)」の製造・販売)  
 レンタル事業 (ダストコントロール商品のレンタル・販売、害虫駆除器のレンタル・販売及び定期清掃業務等)  
 建築コンサルティング事業 (地場工務店に対する建築関連ノウハウ商品及び建築部資材の販売と施工、コンサルティング業務)  
 住宅事業 (戸建注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売及びそれに付随する金融・保険業務)  
 美容・健康事業 (化粧品・健康食品及び美容材料等の通信販売)

主要な子会社：株式会社レオハウス (住宅事業)  
 株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業)  
 株式会社JIMOS (通販事業)  
 株式会社ジェイウッド (住宅事業)  
 株式会社エコ&エコ (省エネ商材販売・工事)  
 株式会社ケイディアイ (住宅事業)  
 株式会社ベルエアー (栄養補助食品製造・販売)  
 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生)  
 株式会社suzukuri (住宅事業)  
 株式会社国木ハウス (住宅事業)  
 インフィニティービューティー株式会社 (通販事業)

本社所在地：〒163-0675 東京都新宿区西新宿1-25-1  
 新宿センタービル42階

上場証券取引所：東京証券取引所第一部 証券コード9788  
 URL：https://www.nacoo.com/

▶ **株主優待**

所有株式数：期末の株主名簿に記載された、100株以上をご所有の株主様  
 贈呈時期：8月下旬～

▶ **株式の状況** (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数：43,000,000株  
 発行済株式総数：24,306,750株  
 株主数：12,373名

※自己名義株式を除く総株主数

所有者別株式分布状況  
 金融機関：約192万株 7.9%  
 金融商品取引業者：約24万株 1.0%  
 その他の国内法人：約1,307万株 53.8%  
 外国法人等：約46万株 1.9%  
 個人・その他(自己株式を除く)：約684万株 28.1%  
 自己株式：約176万株 7.2%

▶ **役員一覧** (2019年3月31日現在)

取締役会長：寺岡 豊彦  
 代表取締役社長：吉村 寛  
 取締役：川上 裕也  
 取締役：小磯 雄一郎  
 取締役：脇本 和好  
 取締役：島田 博夫 ※1  
 常勤監査役：遠藤 彰子  
 監査役：狩野 勝 ※2  
 監査役：大和田 徹(税理士) ※2

※1 会社法第2条第15号に定める社外取締役  
 ※2 会社法第2条第16号に定める社外監査役

ダスキン事業部より

## ケアサービス トレーニングセンター開設!

**DUSKIN**  
 喜びのタネをまこう

ダスキン事業部では、高齢化に伴う市場の変化への対応と、既存のダストコントロール商品部門<sup>※1</sup>のお客様への追加のご提案を目的として、ケアサービス事業<sup>※2</sup>の拡充を短期間で行います。

そこで、現場でのOJTに加えて、一括の研修を行うことで効率的な人材育成を行うために、2019年4月1日にケアサービストレーニングセンターを開設しました。トレーニングセンターには住宅の構造模型や水周りやエアコンのセットなど、研修のための設備が整備されています。

研修内容は、その時期にお客様からの依頼が多くなるメニューが中心です。4月8日にはセンター開設後最初の研修を行いました。株式会社ダスキンの講師の方をお招きして、エアコンの室外機クリーニングと洗濯機除菌クリーニングの研修を行い、夏のエアコンの繁忙期に向けてお客様に追加のご提案ができるように技術を磨きました。

今後は、ダストコントロール商品部門のスタッフを対象にエアコン分解洗浄や水周りクリーニングの研修を行うなど、繁忙期にも対応できる人員を増やし、機会損失を減らすような施策を実践できるセンターを目指します。

※1 お掃除モップやマットのレンタルサービス  
 ※2 ハウスクリーニングなどの役務提供サービス

詳しくはこちら


 ご案内ホームページ

<https://www.nac-duskin.com/careservice/>


一括して研修を行うことで効率的な人材育成が可能となります



- 1 エアコンの室外機クリーニングの研修風景
- 2 洗濯機除菌クリーニングの研修風景
- 3 実際の設備のセットで研修を行い技術を磨きます



住宅プロジェクト「HOMA」より

 インテリアスタイルブランド「journal standard Furniture」と  
 コラボレーションした新築住宅

## 「JSFH」を3月14日より販売開始!


  
 ×
   


全国の工務店を対象としたハイエンドなデザイン・設計支援サービスを行う住宅プロジェクト「HOMA (ホーマ)」は、創業40周年を迎えたペイクルーズグループのインテリアブランド「journal standard Furniture (ジャーナルスタンダードファニチャー)」(以下、JSF)と共同開発した新築規格住宅「JSFH (journal standard Furniture HOUSE)」を3月14日より販売しています。

リノベーションに興味があり、ヴィンテージ感も好き、でもやっぱり住むなら新築住宅がいい。そんなニーズに応えるべく、アメリカ東海岸を彷彿とさせる古き良きヴィンテージ調の“デザイン”と、住む人々の生活に寄り添った“利便性”の両立を目指して完成したのが、この「JSFH」。

デザインは、古い街並みを思わせるレンガタイルの外観や、N.Y.ブルックリンの工場をイメージした洋風の小屋組みを採用したりリビングなど、JSFらしい意匠を随所に散りばめました。また、キッチンスペースには使いやすいオールステンレスのアイランド型キッチンを採用し、家族のライフステージに合わせて変えられるフリースペースを準備するなど、生活導線を踏まえた実用面にもこだわりました。



外観にはレンガタイルとガルバリウム鋼板を採用し、新築ながらも程よくヴィンテージの風合いと現代の洗練されたイメージをミックスしました

### 購入者特典

特別描き下ろしアート贈呈!



JSFのスタイリストが、無料で家具のオーダーコーディネートを行うサービスも展開します

詳しくはこちら


 ご案内ホームページ

<https://homa-p.com/jsfh/>


国内外で活躍する5名の人気アーティストたちが、「journal standard Furniture HOUSE」をテーマに特別に制作した描き下ろしアートの中から、ご希望のいずれか1点をJSFで額装し、贈呈します